



音響分析を活かした臨床評価のヒントと Praat の基本的な使い方

日 程 : 2月15日 (日) 13:00~16:15
会 場 : 大阪保健医療大学2号館 305教室
定 員 : I 部: 15名 **30名** ご好評につき
II 部: 8名
30名に増枠!
対 象 : 校友会会員・準会員 参加費は無料です
申 込 : Peatix

お申込み用QRコード



こんな方におすすめ

発話評価の客観性を
高めたい方

発話評価に
新しい視点を取り入れたい方

Praat を使ったことがない、
または基本から学びたい方

■研修概要■

本研修では、声質の背景にある喉頭の働きや、摩擦音・破裂音など発話に表れる音響的特徴を整理し、音声学・音響学・聴覚心理学の視点をもとに、聴覚的印象と音響的情報が臨床評価に結びつくのかを考えます。また、実践的な理解を深めるために、Praat を用いた基本操作の演習（波形やスペクトrogramの表示、フォルマントの確認、子音の視覚的特徴の捉え方など）を行います。

I部のみのご参加も可能です！

I部 13:00-14:30

音響分析を活かした臨床評価のヒント
※定員 **30名**

講師 松井 理直 先生
(大阪保健医療大学大学院 教授)

声質の特徴と喉頭の働きをふまえ、音響的な情報をどのように臨床評価へ結びつけるかを解説します。“聴こえ”と“信号”的違いを整理し、音声障害やディサーストリアの評価に役立つ視点を紹介します。あわせて、摩擦音・破裂音など子音に見られる特徴にも触れ、聴覚的印象と音響分析を臨床で活かすための要点をわかりやすくお伝えします。

II部 14:45-16:15

音声分析に必要なPraat の基本的操作（演習）
※定員8名

講師 村上 貴則 先生
(児童発達支援・保育所等訪問支援ビーリング)

川畠 武義 先生
(大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科 助教)

本演習では、音声分析ソフト Praat を用いて、臨床で押さえておきたい基本操作を実際に操作しながら学びます。波形やスペクトrogramの表示、フォルマントの抽出、声質、摩擦音・破裂音など子音の特徴の視覚的な確認など、定性的・定量的な分析の基礎を扱います。

※Praat 操作の演習がありますので、PCをご持参ください。

福田学園校友会

06-6354-0091

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目17番3号

